

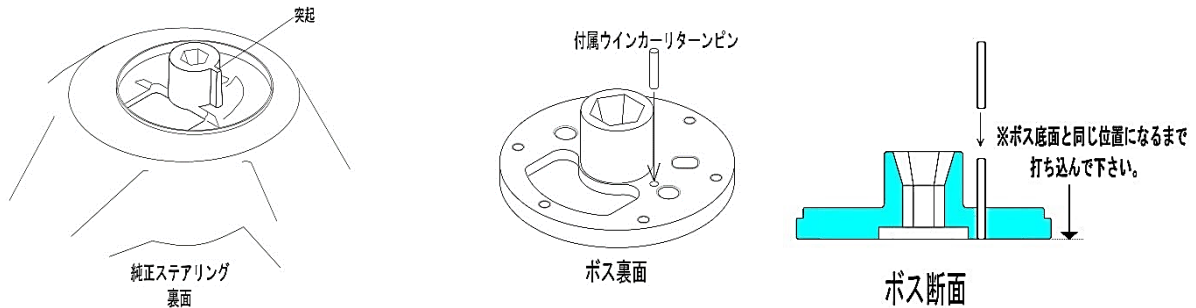
# 922S 取り付け説明書

本製品は弊社製品：ラフィックス：を車両に取り付ける為の専用ショートボスです。  
それ以外での用途にはご使用にならないで下さい。

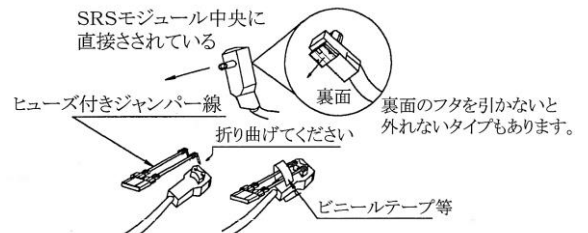
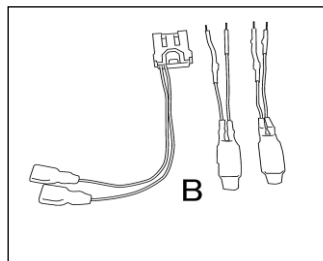
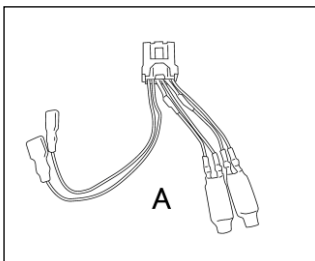
- SRS エアバッグを取り外し、下記作業を行えば警告灯を消灯させることが出来ます。  
但し、お車の電流特性により、正確に配線されていても警告灯が点灯・点滅（時間が経ってからも含む）してしまう場合がございます。ディーラー等で診断器をかけると消灯出来る場合もあります。ご了承下さい。  
注：SRS 警告灯の消灯を保障しているものではありません。消灯しない場合はメーターの電球を抜く等の対応をしてください。
- エアバッグを再搭載される場合は必ずディーラーで行ってください。
- 取り外し作業は手順を誤るとエアバッグが作動し大変危険です。  
専門店、又はディーラーにお任せ下さい。お客様ご自身による作業で事故が発生した場合、弊社では責任を負えません。ご了承下さい。

## 作業手順

1. 前輪を直進状態にしてから、バッテリー端子を外して5分以上放置する。
2. エアバックモジュール（本体）を取り除く。（詳細は整備解説書参照）
3. ステアリングに接続されている各コネクタを抜く。
4. センターボルトを緩めてステアリングを外す。シャフトからステアリングが抜けな場合は、ステアリングプーラを用いて外す。  
スパイラスケールは純正ステアリングを外した状態から、作業終了まで絶対に回転させないで下さい。
5. 純正ステアリング裏側に下図突起がある場合には付属のウインカーターンピンを打ち込む。  
突起が無い車両は付属のピンを打ち込む必要はありません。



6. ボスのトップマーク又は赤ペイントを純正ハンドル形状と確認し、合う方を優先してステアリングシャフトに差し込む。
7. ホーンハーネスと SRS 配線が一体式コネクタの場合は下図 A を使用し、別体式の場合は下図 B を使用する。B の場合はエアバックに接続されていたコネクタに付属ヒューズ付ジャンパー線を差し込み（極性無し）抜けないようにテープ等で固定する。（下図参照）  
（注）二段式エアバックの場合には2セットとも、これを行う。  
付属ホーンカバーが合わない場合は下図 C を参照し、B 同様エアバック配線処理を行う。
8. エアバック配線はボスの内部で遊ばないようにテープ類で固定する。
9. ボスカバーをかぶせる。下部がコラムカバー等に当たってしまう場合、カバーを変形させるか、カッター等で干渉部分を切り取る。
10. センターボルトを締める。トルクは4.5N・m (4.5kgf・m)。
11. ラフィックスの取説を参考にラフィックスを取り付ける。



※ヒューズ付ジャンパー線は、接触不良が無いように確実に固定してください。また、折り曲げは1回までにしてください。それ以上繰り返しますと、破断してしまいます。

